

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	臨床医学特講 1
科目基礎情報				
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期 前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数 45時間
単位数	3単位	授業形態	講義	
教科書/教材	「解剖学」「東洋医学概論」 指定教科書／必要に応じて資料を配布			
担当教員情報				
担当教員	木本 文晴	実務経験の有無・職種	鍼灸師	
学習目的				
<p>日常よく遭遇する疾患の病態や症状、診断所見などを理解することを目的とする。本科目では、日常の臨床で頻繁に遭遇する運動器疾患について学ぶ。運動器の症状は、原因疾患が存在しないことが少なくない。症状発生の原因を、身体的構造や機能の変化から類推するために必要な筋骨格系と神経系の基本的構造と機能を学ぶ。また、それらを中医学的に解釈しアプローチをする方法を学ぶ</p>				
到達目標				
<p>現代医学的な視点から、次の2点の能力を獲得することを目標とする。①運動器疾患の病態や症状、診断所見を説明できる。②筋骨格系と神経系の基本的構造と機能を理解したうえで、腰痛や肩こりはじめ、運動器の症状発生の原因を、身体的構造や機能の変化から類推できる。</p> <p>更に、中医学的な視点から、病状を把握したうえで発生原因を類推し、治療方針を定められることを目的とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	運動器の傷害を理解するうえで必要な筋骨格系と神経系の基本的構造を学んでいく。授業は1・2年で学んだことを下敷きに、配布される資料などを中心に理解を深めて行くものとする。その時点までに学んだ知識を使い、実際の病状を理解することを主眼とする。			
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	100%	期末試験	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
平常点	0%			
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	組織学	上皮組織、結合組織の種類と構造を理解する		
2回	骨学総論	骨の種類、海綿質と緻密質の所在と構造を理解する		
3回	体幹の骨	脊柱、胸郭の構成と機能を理解する		
4回	上肢の骨	上肢帯の構成と機能、上肢の骨と関節の構造と機能を理解する		
5回	下肢の骨	骨盤の構成と機能、下肢の骨と関節の構造と機能を理解する		
6回	頭部の骨	頭部を構成する骨と機能を理解する		
7回	筋学総論	筋の種類と微細構造を理解する		
8回	上肢の筋	上肢の筋の機能を理解する		
9回	下肢の筋	下肢の筋の機能を理解する		
10回	体幹の筋	体幹の筋の機能を理解する		
11回	頭頸部の筋	頭頸部の筋の機能を理解する		
12回	神経系総論	神経線維の種類と構造、グリア細胞の種類と機能を理解する		
13回	中枢神経系	中枢神経の階層構造を理解する		
14回	末梢神経系	末梢神経の種類、分布、機能を理解する		
15回	伝導路	遠心性・求心性伝送路を理解する		

授業計画（16回～23回）		
16回	気血津液	気血津液の性質を理解する
17回	病理病症1	「病」の本質を理解する
18回	病理病症2	「病」に応じて現れるであろう現象に関して傾向を理解する
19回	気血津液弁証	気血津液の乱れからくる病症を理解する
20回	臓腑弁証1	肝に関わる病症を理解する
21回	臓腑弁証2	肝に関わる病症を理解する
22回	臓腑弁証3	心に関わる病症を理解する
23回	臓腑弁証4	心に関わる病症を理解する